全大教新聞

2021年 5月10日
第383号

【発行所】
全国大学高専教職員組合
（略称・全大教）

［PDF版（全面カラー）］
http://zendaikyo.or.jp/?page_id=107
［電話］03-6802-4250
［HP］http://zendaikyo.or.jp/
［所在地］〒110-0012
東京都台東区竜泉
2-20-15 都築ビル2階

＊組合員の購読料は組合費に含まれています（一部30円）

今月の紙面

2 加盟組合からの報告 ～団体交渉によって大きな成果～「東北大学」「東京都立大学」「富山大学」「鳥取大学」
3 論壇「多様な森林施業が豊かな森を育み タフでマイルドな農山村社会を創造する」信州大学学術研究院 教授 植木 達人
3 職場のQ&A㉞残業許可制をめぐるアレコレ
4 単組からのレポート
■ 名古屋工業大学「一部を除く課長が組合加入対象に」
■ 大阪大学「大阪大学における36協定違反事件」
■ 奈良女子大学「あをによし奈良の都は・・・・」

SPRING 2021

新入教職員をむかえ、各組合で加入呼びかけを実施

全大教HPや携帯電話からも組合へご加入できます

岩手大学教職員組合

私たち岩手大学教職員組合では、例年、大学当局が開催する「新採用教職員説明会」において20分の時間を頂き、組合活動や教共済の説明を実施しています。

これまでは、配布資料に基づき口頭で説明していましたが、視覚的に訴えようと今回はパワーポイントを使用した説明を行いました。委員長自ら作成されたパワポ資料は、図や写真を取り入れたわかりやすいもので、更に検討の上で、当日は参加した中執役員で分担して説明をしました。

最後のスライドで述べた「仕事や職場の問題は、個人で解決できなくても、教職員一人ひとりが力を合わせれば解決できることが多くあります」という私たちの想いが、一人でも多くの参加者へ届くことを祈るばかりです。（書記長　菊地 洋）

静岡大学教職員組合

静岡大学は主に静岡キャンパスと浜松キャンパスに分かれており、大学全体としての「新採用職員向け・新任教員向けガイダンス」は静岡キャンパスで例年行われています。その初任者全員参加のガイダンスのお昼休みの前の時間を頂戴する形で、組合のパンフレットの配布、組合活動の口頭説明等の勧誘活動を行いました。また、年度初めのご挨拶の意味を含め、学内の組合未加入者（教員）の研究室訪問を実施し、組合活動に対するご理解と新規ご加入のお願いをしてまわりました。4月中旬現在ではありますが、さっそく複数人の新規加入の申し込みを頂いており、執行部としても喜んでいるところです。

今後も、組合活動の情報発信をしっかりと行っていきたいと考えています。（執行委員長　赤田 信一）

京都大学職員組合

今年も昨年に引き続き、コロナの影響で集合しての看護師オリエンテーションは開催されず、対面で組合勧誘は出来ませんでした。

今年は資料を多くせず、「簡易な分かりやすいチラシ1枚でシンプルに加入呼びかけを行おう！」と執行委員会で決定して対応しました。病棟に初出勤されるタイミングでメールBOXに入れるよう、少し工夫もしました。また、研修などで通られる箇所に看板を設置したり、ツイッターを再開させて組合からの歓迎メッセージを載せたりしました。

引き続き、よりよい職場づくりを通じて、仲間を増やしたいと考えています。（書記　佐藤 大介）

名古屋大学職員組合

コロナ禍の影響で、本年度の新規採用者のオリエンテーションは、事務・技術職員関係がオンラインで開催され、教員は秋ごろ開催の予定です。当面新規採用者へ組合書記局から加入案内セットを送付します。非常勤職員向けには「こんなに違う『正規職員』と『非常勤職員』組合に入って、労働条件を良くしよう！」ビラと加入申込書を配布しました。看護師オリエンテーションは、4月はじめに対面で開催されました。医支部による組合説明会を10分間行い、第2弾として数日後に会場入り口でアンケート（回答するとQUOカード贈呈）も入れ、加入パンフを配布しました。（中央執行委員長　佐々木 康俊）

山口大学教職員組合

4月2日、医学部附属病院新任看護職員78人の研修会にて組合加入を訴えました。研修二日目の昼休み、コロナ禍であることに配慮し時間は20分。その上、直前の研修が押してしまい、結局10分間というわずかな時間で、演者二人して山口大学に組合があることの意味、職場で困ったことやハラスメントに遭遇してしまったときでも頼りになるのは組合しかない、と加入を呼びかけました。

昨年以上に厳しい条件下でしたが、その場で数人、さらに1週間以上経って学内便郵送でも申し込み書を頂くことができました。

原理・原則に立って正面から意義を語れば、応えてくれる人が必ずいるのだと、あらためて実感できた次第です。（書記長　森下 徹）

徳島大学教職員労働組合

今年度は新入職看護師対象のオリエンテーション（大学病院主催）のみ参集方式で実施され、その最後に組合説明の時間をとってもらいました。日程表に「労働組合について」とあらかじめ記載してくれるなど、看護部も協力的でした。

「組合のしおり」や「全大教新聞号外」、加入申込書などを入れたクリアファイルを出席者に配付し、スライドを提示しながら説明しました。病院勤務の組合員（看護師・助産師・病棟クラーク）が多数参加し、その代表者が数分間にまとめたスピーチを行いましたので、より親近感が湧いたのではないかと思います。

毎年、具体的に問題に直面する年度途中の加入例も多く、近年は病院関係でも看護師以外の職種にも広がってきていますので、そういう関係性を大切にしたいと考えています。（執行委員長　今井 晋哉）

琉球大学附属病院労働組合

琉球大学病院では、沖縄県の新型コロナウイルス感染症陽性者が3月31日時点で111人と大幅に増える中、新規採用者オリエンテーションが琉球大学病院敷地内「おきなわクリニカルシミュレーションセンター」で行われました。

今年度は、新規採用者全員に組合のオリエンテーションを行うことができませんでしたが、看護部に入職する46人を対象とし、15分程度に縮小して行いました。組合から資料（組合加入届、全大教・医労連・労金の各パンフレット、4色ペン1本、スコーン、飲み物、加入者にはQUOカード）を配布し、パワーポイントに全大教新聞号外を加え従来通りのスライドに沿って説明しました。新規看護師は、1日目最後の説明にも関わらず一生懸命、説明を聞いている姿勢から、コロナ禍でも「社会人として医療従事者として患者様の命の為に働きたい」という使命感を感じました。（執行委員長　山城 美奈子）